

一般社団法人日本人間工学会第16回理事会 議事録

1. 開催日時：平成24年6月8日（金）15:00～16:40
2. 開催場所：九州大学大橋キャンパス（芸術工学研究院）事務部（棟）4階 大会議室
3. 出席者：
 - ・理事会構成員(27名・定足数14名以上)
 - (理事) 齊藤進(理事長・文科省科研費)，阿久津正大(副理事長・表彰)，青木和夫(学術会議・横幹連・人間工学専門家認定機構長・文科省科研費)，大久保堯夫，大須賀美恵子，岡田明(財務)，岸田孝弥，小谷賢太郎，斎藤真，酒井一博(横幹連・企業の間人工学教育のあり方検討委員長)，三林洋介(財務)，外山みどり(総務)，福田康明，堀江良典(国際・第3期選管)，吉武良治(広報・テレワークイット) [15名]
 - (理事兼支部長) 横山真太郎(北海道)，北村正晴(東北)，八田一利(総務・関東)，村田厚生(中国・四国)，長谷川徹也(九州・沖縄) [5名] [計：20名]
 - (欠席者) 石田敏郎，垣本由紀子，小松原明哲(編集・子どもの人間工学委員長)，土屋和夫，富田豊，横森求(東海)，萩原啓(関西)
 - ・監事：大内啓子
 - ・第3期理事予定者：津久井一平，松岡敏生，三宅晋司(財務)，矢口博之
 - ・第3期理事兼支部長予定者：森本一成(関西)，和田親宗(九州・沖縄)
 - ・第3期監事予定者：赤松幹之
 - ・オブザーバー：藤田祐志(国際人間工学連合PSE)，横井孝志(ISO/TC159国内対策委員長)，榎原毅(ニーズ対応委員長)，芳賀繁(安全人間工学委員長)，栃原裕(第53回大会長)
 - ・事務局：栗田紀子，青木彩

冒頭、齊藤理事長より、本日開催される理事会宛て、IEA元会長の杉山貞夫先生から日本人間工学会を励ますメッセージが届けられたことが報告された。次いで、栃原大会長より、大会の概要説明及び歓迎の挨拶があった。

4. 議事概要

定足数14名を超える20名の理事の出席を得て理事会が成立したことを確認した後、定款に従い理事長を議長として議事を進行した。なお議事録署名人として議長、大内啓子監事のほか、岡田明理事が指名され、承認された。

【審議事項】

- (1) 第1号議案 平成23年度事業報告(案)、収支決算(案)、平成24年度事業計画(案) 収支予算(案) について
八田総務理事による平成23年度事業報告案の説明、三林財務理事による収支決算案の説明、監事による監査の終了報告、堀江次期総務理事による平成24年度事業計画案の説明、三林次期財務理事による収支予算案の説明があり、本内容を平成24年定時社員総会に諮ることが承認された。
- (2) 第2号議案 投稿規程の改訂について

大須賀次期編集委員長より、前回の理事会で承認された編集事務局の移転について、投稿規程の具体的な改定案が示され、審議を経て承認された。

(3) 第 3 号議案 選挙管理委員会報告について

堀江第 3 期選挙管理委員長から、選挙管理委員会の活動と選挙結果について報告があった。また、第 2 期代表理事を第 3 期理事とすることを平成 24 年定時社員総会の議題として提出するとの提案があり、承認された。

【報告事項】

(1) 総務報告

(1-1) 一般社団法人日本人間工学会第 15 回理事会議事録

八田総務担当理事より、メール審議を経て、第 15 回理事会議事録が確定した旨報告があった。

(1-2) 会勢報告(5 月末)

2012 年 5 月末現在、会員数 1822 名、賛助会員 33 社 34 口。

(2) 財務報告

三林財務担当理事より、5 月度の収支報告があった。

(3) 第 53 回大会準備状況

栃原大会長より、順調に準備が進んでいること、また、明日からの大会で多くの出席と活発な討論をお願いする旨、発言があった。

(4) 第 54 回大会について

堀江大会長より、第 54 回大会は 6/1、2 (土、日)、日大生産工学部津田沼校舎 (千葉県習志野市) で開催すること、また、理事会は 5/31 (金) に日大理工学部駿河台校舎 (お茶の水) にて開催する予定である旨、説明があった。

(5) 担当・委員会報告

(5-1) 国際協力委員会

堀江委員長より以下の報告があった。

- ・ 2/10, 11 に開催された IEA Council meeting 2012, Recife 報告及び IEA 理事会報告を人間工学第 48 巻 2 号の 98-101 ページに掲載した。
- ・ 5/25, 26 に、韓国・済州道にて ESK/JES ジョイントシンポジウムが開催され、JES から 9 件の発表があった。なお、ESK は創立 30 周年記念の年であり盛会であった。

(5-2) 安全人間工学委員会

芳賀委員長より、平成 23 年度の活動、及び今後、委員会と安全人間工学研究部会とを分離し、それぞれの活動をしていく予定である旨、発言があった。

(5-3) ISO/TC159 国内対策委員会

横井委員長より、新委員を委嘱中であること、及び 12 月上旬に京都にて SC4 関連の国際会議を開催することを決定したとの報告があった。

(5-4) 第 3 期選挙管理委員会

堀江選挙管理委員長より、明日 6/9 (土) の定時社員総会の承認を経て第 3 期の体制が正式に発足する旨、説明があった。

(5-5) 編集委員会

大須賀次期委員長より以下の報告があった。

- ・編集事務局の千葉工大から学会事務局への移転についての種々の告知方法をとっている。
- ・引継期間を6/1～8/31とし、48巻3号までは第2期の編集委員会が編集することなどの新旧編集委員会の担当分担を明確にした。
- ・名古屋市立大に編集幹事を設置する。
- ・投稿の電子化を進めるにあたって、投稿規程の改定を進める。

(6) 支部報告

(6-1) 北海道支部

横山支部長より、北翔大学に支部事務局を移転する旨、報告があった。

(6-2) 東北支部

北村支部長より、総会資料のとおりである旨、説明があった。

(6-3) 関東支部

八田支部長より、阿久津次期支部長の紹介があった。阿久津次期支部長からは、会則の改正、卒業研究発表会の格上げ、若手の登用、会員の増などの活動の方針が説明された。

(6-4) 東海支部

斎藤真次期支部長より、三重県立看護大学に支部事務組織を移転する旨、報告があった。

(6-5) 関西支部

森本次期支部長より、関西支部大会は12月に1日間の開催予定である旨、説明があった。

(6-6) 中国・四国支部

村田支部長より、支部活動の活性化に引き続き尽力する旨、説明があった。

(6-7) 九州・沖縄支部

長谷川支部長より、和田次期支部長の紹介があった。和田次期支部長からは、支部大会等での発表を始め、活動を活性化するとの方針が説明された。

(7) 今後の理事会日程について（総務）

平成24年6月9日（土）に第17回理事会（新役員による理事長、副理事長選任）を九州大学大橋キャンパスにて開催する予定。

5. 閉会

以上の議事を終え、16時40分に閉会した。

上記の決議を明確にするため、議長、議事録署名人がこれに記名押印する。

平成24年6月8日

議 長 齊 藤 進 ㊟

議事録署名人 岡 田 明 ㊟

議事録署名人 大 内 啓 子 ㊟